

本資料(文書)には、核物質防護上の管理すべき情報が含まれます。あらかじめ指定された者以外に開示すると法に基づき罰せられることがあります。

■ 型輸送物容器承認申請概要

令和2年9月

国立大学法人東京大学大学院

工学系研究科 原子力専攻

今回申請した■■■■型輸送容器は、米国SRSによって製造されたものである。
これらの容器は2009年に製造が完了している容器であるため、本輸送容器については製造管理ではなく、調達管理を適用した。



「輸送容器に係る品質管理の方法に関する説明書」については、ガイドライン別記第6備考のとおり、(イ)-Eを除き記載を省略した。東京大学QMSに基づき別記第6を記載し、付属書類にSRNLの品質マネジメントシステムを示した。

今回申請した■■■■型輸送容器は米国QAシステムに基づき維持管理されている。
米国のQAシステムでは、直近の定期検査記録以外保管の必要がなく、輸送に使用した実績や使用回数等の記録は残っておらず、東京大学で受領するまでは米国管理下となる。



東京大学で輸送容器受領後、受入検査を実施することで輸送容器の性能が維持されていることを確認する予定。
(受入検査実施後、容器承認申請の補正申請を実施)

検査項目	根拠書類	確認方法
材料検査	Traveler ミルシート等	Travelerにより材料のHeat No.等を特定し、対象のミルシート等を用いて確認
寸法検査	Traveler、製造図面 寸法検査記録	Travelerにより対象となる部位のUnit番号を特定し、寸法検査記録と製造図面を用いて確認
溶接検査	Traveler VT記録、PT記録	Travelerにより溶接検査の対象箇所の溶接番号を確認し、VT記録及びPT記録を基に確認
外観検査	Traveler	各Travelerのverify等によって確認 (例:PCV⇒SCVに装荷時)
耐圧検査	耐圧検査記録	PCV及びSCVのserial番号を基に耐圧検査記録によって確認
気密漏えい検査	ヘリウムリーク試験記録	PCV及びSCVのserial番号を基にヘリウムリーク試験記録によって確認
遮蔽性能検査	材料検査記録 Traveler	東京大学の実施した材料検査に合格していること及びTravelerにより遮蔽体重量を確認

検査項目	根拠書類	確認方法
遮蔽寸法検査	寸法検査結果	東京大学の実施した寸法検査に合格していること
伝熱検査	—	検査対象外
吊上荷重検査	—	検査対象外
重量検査	Traveler	Travelerにより輸送容器重量を確認
未臨界検査	材料検査結果 寸法検査結果	東京大学の実施した材料検査及び寸法検査に合格していること
作動確認検査	—	検査対象外
取扱い検査	気密漏えい検査結果	東京大学の実施した気密漏えい検査に合格していること

◆ 受入検査実施時期

米国では輸送容器発送から1年以内に収納、1年以内に輸送完了する必要がある。東京大学では [REDACTED] で受領する予定であり、受領後速やかに受入検査実施予定。

◆ 収納物収納作業及び発送前検査実施時期

東京大学では [REDACTED] を希望。

◆ 輸送時期

[REDACTED] を予定。

[REDACTED]